

日本ウマ科学会 2019年度 第1回常任理事会議事録

日 時：2018年11月12日（月）13：00～14：45

場 所：日本装削蹄協会 会議室（JRA 新橋分館 7階）

出席者： 青木 会長
田谷 副会長
田嶋 副会長
近藤 庶務担当常任理事
半澤 会計担当常任理事
楠瀬 編集担当常任理事
石田 学術担当常任理事
太田 事務局長

議題：

1. 監事監査報告
2. 2019年度 理事会・評議員会・定時総会について
 - ① 2018年度事業報告（案）ならびに収支決算（案）
 - ② 2019年度事業計画（案）ならびに収支予算（案）
3. その他

議事概要：

議題1.

- 11月12日（月）の午前中に日本装削蹄協会にて岩崎・末崎両監事による監事監査が行われた。特別な指摘事項はなく、書類は正確に処理され、事業は適切に運営されていると報告された。（半澤会計担当常任理事が代理で報告）

議題2. ①

- 2018年度の事業報告&収支決算について、「2019年度 理事会・評議員会・定時総会 資料」（案）に基づき、事務局より説明がなされ、原案通り承認された。主な説明点は以下の通り。
 - 正会員数および賛助会員数はほぼ横ばいで、会費収入もほぼ予算額どおりであった。
 - 学術集会の参加者数が予想を大幅に上回ったため、参加費収入も予算額を上回った。
 - 表彰特別会計の残高（726,547円）を全額一般会計に繰り戻し、口座は解約した。
 - 事務作業のさらなる簡略化により、アルバイトの人件費が減少した。
 - 学術誌の出版刊行費は、JESが4,057,011円（対前年比129.9%）、Hippophile

が 3,105,972 円 (同 123.8%) であり、全体では 7,162,983 円 (同 127.2%) と予算額を大幅に上回った。これまで次年度会計に先送りとなっていた 9 月号分を年度内に支払ったため、2018 年度は計 5 号分を支払ったことによる。

- 第 30 回学術集会の会場基本使用料 (731,808 円) は、昨年度 (2017 年度) 会計から前払い済み。
- 国際交流促進事業 (海外渡航支援) への応募はなかった。一方、WEVA (世界馬獣医師会) から招待状が届いたため、桑原国際担当常任理事を派遣した。

議題 2. ②

- 2019 年度の事業計画&収支予算について、「2019 年度 理事会・評議員会・定時総会 資料」(案)に基づき、事務局より説明がなされ、原案通り承認された。主な説明点は以下の通り。

- 学会会計を一般会計に一本化することを目的に、国際特別会計の残高の全額を一般会計に繰り戻し、口座は解約する。これに伴い、新たに一般会計に「国際事業費支出」を計上する。
- 同様に、臨床特別会計の残高の一部を一般会計に繰り戻す。これに伴い、新たに一般会計に「企業展示収入」と「臨床委員会事業費支出」を計上する。また、現在準備中の「認定馬臨床獣医師制度」が正式に承認された段階で、臨床特別会計の口座を解約し、残額を「認定馬臨床獣医師制度準備金」に当てる。当該制度は、これを原資に学会会計からは独立して運営する予定。
- 現在の学会 HP は JRA 総研のサーバーを借用しているが、JRA 総研のサーバーの整理縮小に伴い、ここから離脱し、外部サーバーに移行する予定。この費用を広報費に計上している。
- 2019 年度より学術集会の会場使用料は事後一括精算となるため、当該年度内での支払いとなる。
- 臨床委員会主催のセミナーに外国人講師を 2 名招聘するため、講師交通費が例年よりも大幅増となっている。ただし、講義のみで実習がないため、今年度は DVD の作製を見送る。

議題 3.

- 佐々木臨床担当常任理事より、「認定馬臨床獣医師認定規程」(案)に関する説明があった (当日は佐々木理事が欠席したため、青木会長が代理で説明)。基本方針については合意が得られたものの、規程その他に不備な点が見受けられるため、現時点での承認は見送られ、引き続き詳細を協議することとなった。